

Ja-Net

季刊ジャネット

スリーエーネットワーク

April 2023

No. 105



Contents



日立さくらまつり

卷頭寄稿

ディスレクシアが開く扉

リュブリヤーナ大学 文学部

守時なぎさ

ディスレクシアとの出会い

2011年の夏のことでした。あるミニ学会に参加するべくブルガリアのソフィア空港に降り立ったときのことです。空港で待ち合わせをした大学時代の大先生に、「あなた、スロベニアではディスレクシア、どんな感じなの?」と尋ねられたのが、ディスレクシアとの

出会いでした。この時、私は「ディスレクシアってなんですか?」と間の抜けた返事をし、大先生に呆れられたのを覚えています。

ディスレクシアは、読み書き障害とも呼ばれること、発達性と後天性があること、文字と音を結びつける力(音韻処理能力)や文字を認識する力、文字列を一つの単語として認識する力が弱いこと、脳の一部の機能がうまく機能していないらしいこと、遺伝性かも

しないこと、日本語教育での学習支援の方法が問題になっていることなどをタクシーの中で聞きながら、私はただうなづくだけでした。ホテルに着いた時、タクシー代を払いながら大先生がおっしゃいました。「トム・クルーズやainschutainもディスレクシアだったそうよ。あなたもスロベニアで調べてみてよ」。トム・クルーズって言われてもなあ、と思いながら私とディスレクシアの付き合いが始まりました。

キリル文字で疑似体験

私はスロベニアという中央ヨーロッパの小さな国に住んでいます。スロベニアは南スラブ語圏の国で、その時滞在したブルガリアも南スラブ語圏ですが、スロベニアではローマ字、ブルガリアではキリル文字を使っています。

例えば、「本屋」はスロベニア語では knjigarna(クニガルナ)、ブルガリア語で Книжарница(クニジャルニツア)、「ミルクコーヒー」は、スロベニア語では kava z mlekom (カヴァ・ズ・ムレコム)、ブルガリア語では кафе с мляко (カフェ・ス・ムラコ)となります。文字が読めれば、音がわかり、音がわかれればだいたい意味が想像できます。しかし、難しいキリル文字の羅列になるとお手上げです。ソフィアの真夏の太陽の下で見た、文字と音と意味の解読が私のディスレクシアの疑似体験になりました。

それから十数年を経て、日本国内でもディスレクシアは ADHD(注意欠如・多動症)と共に実に身近な話題となっています。日本では漢字の読みに困難のある小学生は約 5%だと言われていました¹。私が住むスロベニアでは、2002 年の調査では人口の 3%が重度、7%が中程度のディスレクシアだという統計が出ています²。この数値は、文字と音の結びつき方が複雑な英語圏やフランス語圏よりは数%低いですが、それでも初等・中等教育ではディスレクシアを持つ児童・生徒の支援が大



ディスレクシアの人が使用する読み解補助ルーラー。真っ白な紙よりパステルカラーの背景に書かれた文字が読みやすいとされる。また別の行に飛んでしまわないように、読んでいる部分の視野を狭くする役割もある

きな問題となっています。ディスレクシアについては、すでに先の大先生、石田敏子先生が Ja-Net63 号に寄稿していらっしゃるので、詳しくはそちらをご覧ください (<https://www.3anet.co.jp/np/info-detail/89/>)。

学習支援のトライアル&エラー

これらの調査から 20 年経った今、肌で感じる実感として、スロベニアでも学習障害を抱える人がますます増えてきたように思います。それだけでなく、正規には学習支援を申請していないけれど「実はディスレクシアなんです」と打ち明けてくれる学生もいます。そして、これらの学習者は、私に教育や研究に

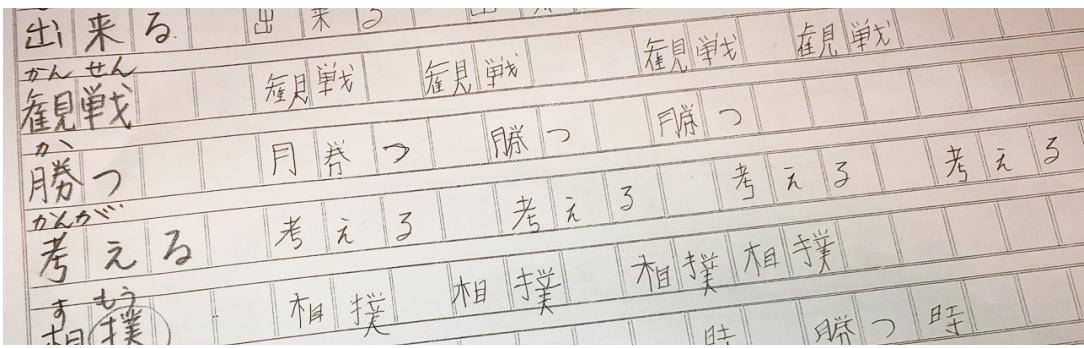
おいて「本当にその方法でいいのか」「もっと良い方法はないのか」と暗に問い合わせてくれます。そう、ディスレクシアの学習者は、私に終わりのない方法論模索への扉を開けてくれたのです。

それはなぜか。ディスレクシアを持った人々は、文字と音、そして意味の関係付け機能が弱いため、通常とは異なった方法で教えるを得ません。資料の使い方、板書の書き方、パワポの作り方、一つひとつを常に見直す必要が出てきます。そして彼らの自律学習をどのように支援できるかという課題と取り組むことになります。

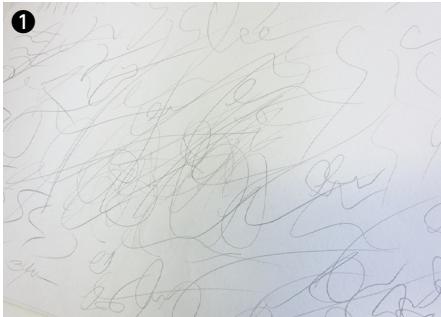
ある年、私のクラスに留学生が来ました。この学生が提出する宿題の文字が非常に雑で、漢字の間違いが多かったことから、漢字の書き取りという古典的な課題を出してみました。すると提出されたのが右上(p.3)写真のようなものでした。

この学生は空間の認識力が弱く、一つの漢字がばらばらになっていることが分かるでしょう。字の大きさもまち

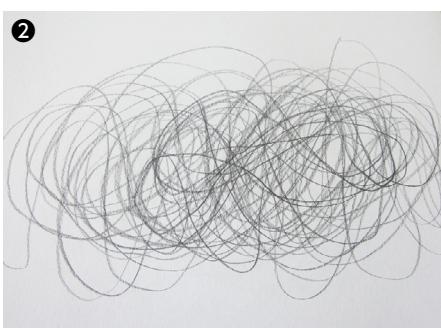
埠の向こうの世界が見えるように



ディスレクシアと思われる留学生の漢字の書き取り。「勝」の字がバラバラなのがわかる



学習支援を受けているスロベニアの児童が書いた3枚の線図。①の乱れた線は支援を受け始めたとき。支援の効果が現れ始めると②のように「∞」の線図が出てくる。③は支援が効果的に行われている証拠で、この段階では「∞」がしっかりと描かれ、様々な色を使うこともできる



まちです。彼は、制度上は学習支援の対象者ではありませんでしたが、私はディスレクシアかもしれないと推測し、すぐにその課題をやめました。

私の仕事は「対象の学生がディスレクシアだ」という判断をすることではありませんが、学習支援の方法を用いて、学生とより良い学習法を相談しました。そして、(1) 宿題やテストはコンピュータで書いて提出する、(2) クラスでは、長い文章を読むタスクは与えず、耳で聞いて学習してもらう、(3) しかしメモを取る練習をする、などの取り決めをしました。また、ディスレクシアのような学習障害を持つ人は時間管理をすることが難しいことがあります。そこで、(4) 時間管理のためのカレンダーを作成することも決めました。それに加えて適宜、私から提出物や活動の日

時を個別に知らせるようにしました。これは支援というよりは、伴走と言ったほうが良いかもしれません。

学習支援、そして「伴走」へ

これらのことから、当該の学生にとってどの程度効果があったかわかりません。しかし、彼が喜んで課題や活動に取り組んでいたことは、私がさらなる支援法を模索する動機付けとなりました。この学生の日本語のスピーチは実際に見事でした。他にも、創造的な料理を作る人、感情豊かで演技力に優れた人など、成績が振るわず大学を去っていったけれども忘れられないディスレクシアの学生がたくさんいました。大学の外では輝いている元学生の活躍を羨望と無力感とで思い出すことがあります。

ディスレクシアを通して、学習支援の研究者や現場の支援者、ディスレクシアを抱えている人たちなど、様々な人に出会うことができました。ディスレクシアの学習者に、評価や成績などのハードルを低くすることは支援とは言いません。塀の向こうの世界が見えるような、適切な踏み台を探すこと。そして高い踏み台に立つ人も踏み台が要らない人も一様に、新しい世界を学習者が自分の知るために私に何ができるか、今後も出会った人々の顔を思い浮かべつつ学習者に伴走する方法を模索していきたいと考えています。

参考文献

- *1 宇野彰 (2007)「発達性dyslexiaとは—出現頻度、大脳基盤を中心に」、笛沼澄子(編)『発達期言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論』医学書院、83-92.
- *2 Kavkler, M. (2002). Poročilo o delu društva za leto 2002.



守時なぎさ
(もりとき なぎさ)

筑波大学博士課程修学中、1995年よりリュブリヤーナ大学文学部アジア研究学科日本研究コースで日本語教育に関わり始める。博士(一般言語学)。専門は日本語学、言語政策、教員養成、ディスレクシアの日本語教育。日本語学・文学・音楽学・歴史学などの領域間の融合、そして民主教育を視野に入れた授業活動の試行錯誤を続ける。2020年よりヨーロッパ日本語教師会会長。

あちこち日本語ご紹介

北海道 東川町

大雪山のふもと「写真の町」の日本語学校

東川町立東川日本語学校

事務局長 片山孝司

マネージャー 高野悠己

写真の町、東川町

東川日本語学校は大雪山のふもと、北海道東川町に位置する日本最北の日本語学校です。

東川町は1985年に「写真の町」を宣言し、自然と文化と人が出会う“写真映りのよい”町づくりを進めています。夏に約1か月行われる東川町国際写真フェスティバルや、日本国内の高校生写真部の代表が集まって写真作品を競う「写真甲子園」を開催しており、今や写真の聖地となっています。さらに東川町と交流のある国々から高校生が集う「高校生国際交流写真フェスティバル」も開催し、世界に開かれた町づくりを目指しています。

全国初の公立日本語学校

現在、東川町の国際交流において、日本語教育事業は中心的な役割を果たしています。その始まりとなった、2009年から行われてきた町の短期日本語・日本文化研修事業が実を結び、2015年10月、「全国初の公立日本語学校」として開校しました。これまで、長期コースは350名を超える卒業生を、短期コースは3,000名を超える修了生を輩出しています。

本校は、韓国、中国、台湾、ベトナム、タイ、インドネシア等、東南アジア地域からの留学生に加え、近年は、アフガニスタン、ウクライナ、ウズベキスタン、ミャンマー等、世界中の国々から留学生を受け入れるようになりました。

日本語の授業は、1コマ45分の授業を1日4コマ行っています。

授業は基本的に午前中までですが、午後は自習時間や補講、7月と12月に実施される日本語能力試験(JLPT)対策の授業も行っています。

また、日本の文化や北海道の自然を学ぶ機会として、日本文化体験(茶道、舞踊)や自然体験(北海道最高峰の旭岳や、美瑛・富良野など近隣町村の散策)など、多くの課外活動があります。



『短期集中 初級日本語文法総まとめポイント20』を使った日本語の授業



短期コースの課外授業として冬の旭岳散策。長期コースでは夏山の旭岳トレッキングを楽しむ

町内には2食付きの宿泊施設(学生寮)があり、留学生が生活面でも安心して学習に臨める体制を整えています。

本校に併設されている「ひがしかわ多文化共生室」に国際交流の窓口を設け、町民との交流やボランティア、イベントのほか、留学生の就職支援の活動もしております。

相互尊重の社会を目指す

学生は地域のイベントへの参加だけでなく、母国料理を紹介し試食ができるイベントも企画したりしています。クラスの選抜者によって行われる日本語スピーチコンテストにも参加し、一般に公開(2023年2月はオンラインで公開)しています。

「ひがしかわ多文化共生室」は町内に住む外国人も対象としており、外国人と町民が同じ東川町民としてお互いを尊重することのできる社会を目指す活動をしています。

留学生の夢のために

東川日本語学校は、留学生がそれぞれ目標とする日本語能力を身につけること、日本の生活習慣や伝統を理解し日本人の心を知ってもらうこと、自分の夢を実現し、世界で活躍できることを願って日本語教育を行っています。

読者の皆さん、日本語教育に携わっている皆さん、本校に興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、是非一度、北海道東川町にお越しください。

東川町が制作に参加している映画「カムイのうた」(アイヌ文化伝承者、知里幸恵さんがモデル)が本年秋に公開されます。

みんなの“日本語View from the Other Side”

このコラムでは、学習者や日本語に携わる方の視点から話題をお届けします



シャポワル オルハ

1996年 ウクライナ、キーウで生まれる
2013年 ポリス・グリンченコ・キーウ大学言語学部入学、日本語を学ぶ
2018年 ポリス・グリンченコ・キーウ大学大学院修了、修士号取得
2019年 ポリス・グリンченコ・キーウ大学で日本語を教える
2022年3月 来日
2022年7～8月 国際交流基金日本語国際センターにて日本語教師研修
同年10月 東京の日本語学校入学(現在に至る)

illustration 内山洋見

日本語を学んだきっかけ

私は高校生の時、世界史の授業で日本明治時代の話を聞いて、日本に興味を持ちました。その日まで日本の歴史についてあまり知らなかったので、先生が話す日本の地方の名前や歴史上の人物の名前などの言いにくい言葉を聞いて魅了されました。それに明治時代は非常にユニークだと思いました。なぜなら、長く続いた鎖国体制が崩れ、日本が開国したからです。「鎖国をしたわけは?」「明治維新で変わったことは?」「開国しなければ、現代の日本はどうなるか?」のよ

日本の「明治時代」との出会いから

うな質問について頭が混乱するまで考え、日本の歴史に深く興味を持つようになりました。

大学での日本語の勉強

2013年にウクライナの大学に入学し、日本語学習の歩みが始まりました。最初の一年は本当に楽しくて、ひらがなの覚え方は今でも忘れられません。家でひらがなのフラッシュカードを作って、床に座ったまま2～3時間ほどひらがなを勉強していました。先生が初めて漢字の筆順のルールを教えてくれたとき、「わあ、すごい!早く書けるようになりたい!」という考えが脳裏に浮かびました。初めて学んだ長い文章や、動詞のグループ分けの学び方など懐かしい思い出は数え切れません。

しかし、2年生から卒業にかけてとても辛くなり、日本語の勉強を諦めようと思いました。漢字はもとより、文の作り方にも困りました。英語に近い言語環境(ウクライナ語)で育ったので、日本語の文章の語順の違いや、わずかな意味の違いしかない言葉に頭にきました。その状態ではやる気が出ないし、勉強の満足感は得られません。しかし4年の努力を捨てるのはもったいないと思い、修士号を取ること

にしました。2018年修士号を取得して、2か月後、2019年に母校の大学で働くことになりました。

日本語教師の道

大学で日本語教師になる前に、英語を教えた経験が少しあったので、日本語教師をやってみようと思いました。素晴らしい先輩のもとで学び、教師の仕事の魅力を見つけられたので、今の上司に教師として大学への就職の誘いを受けたときには本当に嬉しかったです。

しかし日本語教師初日に、熱心に準備していたのにもかかわらず、学生に見下したような目で見られました。どうやら卒業したばかりの日本に行ったことがない若い教師は、適切に教えることができないと考えていました。それでも、徐々にそのグループと楽しく時間を過ごせるようになり、学生の日本語能力と共に私の指導力も上達していきました。今では授業で新しい言語知識を与えるだけではなく、美しい日本の文化と日本人の価値観を共有することを目指しています。

これからの夢

ウクライナ人として、一番の夢はもちろん平和です。ウクライナの平和も、世界の平和も願っています。人はそれぞれ異なりますが、日本に来て、たくさんの日本人に出会い、言語や習慣が違っても、みんな同じだとわかりました。これからも教師としてウクライナ人に日本のこと紹介したいと思います。同時に日本にいる間、日本人や外国人とつながって、ウクライナの魅力も知ってもらいたいと思います。一緒に安全で、きれいな世界を作りましょう。

『日本留学試験 読解 ポイント&プラクティス』

アークアカデミー 著

B5判 76頁 別冊24頁(予定) 1,540円(税込) 7月発行予定

山田光子

読解の苦手意識を克服!

『日本留学試験 読解 ポイント&プラクティス』は、学習者の「読解」に対する苦手意識を解消し、自信をもって試験に挑めるようにサポートするための教材として生まれました。

日本で大学進学を目指す留学生にとって、年2回実施される日本留学試験(以下EJU)でのスコアは進路を大きく左右するものです。EJUの「読解」で特に課題となるのは、限られた時間内に正解を導き出すことです。中でも非漢字圏出身の学習者にとって、難しい語彙や漢字が多い文章を読まなければならぬ「読解」は、大きな壁となっています。実際に試験後には、「時間が全然足りなかった」「知らない言葉ばかりだった」という、ため息まじりの声を多く聞きます。

本書は、そんな学習者でも、無理なく得点アップできるとを目指しました。

本書の流れ

本書は、実際の試験の出題傾向を分析し、問い合わせのタイプを5つに分け、そのタイプごとに解き方を学習していきます。まず、1~6回では読解問題の基礎知識や解き方を学び、7~11回では学習した解き方を応用して実戦問題を解いていきます。最後に、12回で本試験1回分にあたる模擬試験に挑戦します。

多くの問題に取り組む中で問い合わせのタイプを見抜くことができれば、効率よく問題を解き進めることができるようになります。それが学習者にとって確かな手応えとなり、その手応えこそ、読解への自信につながると考えます。

また、本書は全12回で構成されているため、短い期間で効率的に取り組むことができます。

試験形式の練習問題で「できた」を実感

EJUの読解に不慣れな学習者は、文章を最初からすべて読もうとしてしまいます。しかし、限られた時間内に正解を導き出すには、最初に問い合わせの文を読んで、どのような情報を探せばよいかに気付くことが大切です。

本書の練習問題は、すべて実際の試験と同じ形式ですので、クラスで問題を解く際にも、制限時間を設け、効率よく解くことを意識するとよいでしょう。答え合わせと解説を行った後は、各問題の本文について、語彙、文法などを必要に応じて共有してください。また、文末表現、接続詞、理由表現をまとめた「大切な表現」のページも問題を解く際のヒントとしてご活用いただけます。

別冊の解答解説には、正答の選択肢だけでなく、誤答の選択肢にも解説がついています。解説には、英語、中国語、ベトナム語訳がついているため、独習にも適しています。

「記述」「聴解・聴読解」と併せて、スコアアップを目指す

「日本留学試験 ポイント&プラクティス」シリーズは、「記述」「聴解・聴読解」も順次発行予定です。本シリーズがスコアアップの鍵となり、多くの学習者の進路を切り開く助けとなることを期待しています。





『タスクベースで学ぶ日本語 中級3 Task-Based Learning Japanese for College Students』

国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程 著
B5判 108頁(予定) 2,200円(税込) 5月発行予定

相対的な視点を持って「対話」を重ね、アカデミックジャパンーズの扉を開けよう！

国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程

滝川晶・尾崎久美子

本シリーズは大学生を主な対象とした中級レベルの総合教科書です。大学での学びに繋がるようなテーマについて、タスクを通して「日本語の力」と「内容を理解して思考する力」を身につけることを目指しています。本書はシリーズの最終巻で、CEFR B2レベルの様々なタスクができるようデザインされています。

『中級3』のテーマと構成

大学生の知的好奇心を刺激し、かつアカデミックな話題に繋がるテーマを選んでいます。テーマを理解し相対的な視点を持って他者と対話する中で、各自が気づきを得、考えを深めていくことを期待しています。そのために、『中級1、2』同様、各課のプレ・メイン・ポストタスクに、4技能と「やりとり」のタスクをバランスよく配置しています。

第1課 動物と暮らすってどんなこと？

第2課 私の町は魅力的？

第3課 あなたにとって大切なものは？

第4課「幸せ」って何だろう？

第5課「○○らしい」とは？

第6課「もったいない」は地球を救う？

第7課 社会の中の「私」とは？

プロジェクト

本シリーズはオンライン授業でも使いやすく、どの課からでも、1課だけでも学ぶことができます。機関や学習者のニーズに合わせてご活用ください。



『JLPT 読解N5 ポイント&プラクティス』

福岡理恵子・清水知子・熊田道子 著
B5判 52頁 別冊46頁(予定) 1,320円(税込) 5月発行予定

横浜国立大学、東京農業大学、防衛大学校

非常勤講師 清水知子

本書は、日本語能力試験の対策問題集「ポイント&プラクティス」シリーズの一冊です。読解ストラテジーを無理なく導入してN5合格を目指します。

例題ページでポイントを確認

全12回の問題パートは、文章を「説明文」「体験文」「メール・メモ・お知らせ」のようにジャンルで分け、各ジャンルの初回冒頭に例題を置きました。例題では、本シリーズの忍者先生が読

む際のポイントを解説しており、読解上の注意点が意識化できます。

別冊解説が充実

別冊には、各問題の考え方を示す図解を載せました。読解のポイントが一目でわかるよう、本文を再掲してキーワードをマークし、矢印や下線等を用いて、正答に至る道筋を示しています。このほか、誤答選択肢が不正解である理由、本文からピックアップ

した「文法・表現」等も掲載しました。充実した解説は、教室で指導される際のお役に立つことと思います。また、翻訳(英語・中国語・ベトナム語)がついているので、独習にも向いています。

読解力の効率的な育成のため、ぜひ本書をご活用ください。





すべて税込み価格です



タスクベースで学ぶ日本語 中級3

Task-Based Learning Japanese for College Students

JLPT読解N5 ポイント&プラクティス

日本留学試験 読解 ポイント&プラクティス

2,200円 5月発行予定

1,320円 5月発行予定

1,540円 7月発行予定

お知らせ

『みんなの日本語』25周年フェア

1998年に誕生した『みんなの日本語』シリーズは、発行から25年を迎えました。これもひとえに国内外の多くの学習者、教師の皆様にお使いいただいたおかげです。皆様へ感謝の気持ちを込めて、ご応募いただいた方の中から抽選でご希望の『みんなの日本語』グッズをプレゼントいたします。なお、④～⑥は日本語学校、ボランティア日本語教室など、団体向けとなります。

《個人のお客様向け》

①『みんなの日本語』文庫メモセット

25名様

②『みんなの日本語』折り紙、ふせんセット

25名様

③ミラーさん3段スタンプ 25名様

《日本語教育機関向け》

④『みんなの日本語』ノート(25冊)、折り紙(5セット)20校

⑤『みんなの日本語

かるた』20校

⑥ミラーさん3段ス

タンプ(5セット)

20校



【応募方法】ウェブフォームに必要事項をご入力ください。

<https://bit.ly/3ElbvFN>



【締め切り】

2023年5月31日(水) 23:59

【当選発表ならびに個人情報の取り扱いについて】

プレゼントの当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます(6月発送予定)。また当選案内の連絡がつかない場合、当選は無効となります。応募していただいた方の個人情報はプレゼント発送以外の目的には使用いたしません。

『新版 サードカルチャーキッズ 国際移動する子どもたち』発行とSNSのご案内

デビッド・C. ポロック、ルース＝ヴァン・リーケン、マイケル・V. ポロック著の『Third Culture Kids 3rd Edition: Growing up among worlds』が日本版オリジナルの編集を加え、6月に発行予定。

サードカルチャーキッズとは、国際移動を繰り返し、さまざまな国や文化の影響を受けながら独自の生活体験をしてきた子どもたちを指します。

SNSアカウント「サードカルチャーキッズ」では、本書の翻訳者の嘉納もも、日部八重子、峰松愛子3名による翻訳作業や、それぞれの日常、サードカルチャーキッズの経験などをアップしています。

『新版 サードカルチャーキッズ 国際移動する子どもたち』税込2,420円、6月下旬発行予定



facebook



Instagram

表紙のイラスト

「日立さくらまつり」は茨城県日立市で開催されている春のお祭りです。見事な桜の木々を背景に、大きな山車の上で、からくり人形の芝居が行われます。

季刊ジャネット

Ja-Net No.105

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2023年4月25日発行

- 発行人 藤寄政子
- 発行所 (株)スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

ト拉斯ティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

<https://www.3anet.co.jp/>

- デザイン ベーシック 畑中 猛
- イラスト 竹永絵里 (P.1, 8)
- 印刷 (株)ワコー

© 2023 by 3A Corporation

Printed in Japan (禁無断転載)

『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。次号は2023年7月25日発行予定です。